

平成17年10月26日

各 位

大陽日酸株式会社

低地球環境負荷マグネシウム溶湯カバーガスのマグネシウムダイ
キャスト製造向けとして国内初の量産用に導入

このたび、大陽日酸株式会社（社長：田口 博）は、株式会社東海理化（取締役社長：木下 潔）と共同で低地球環境負荷のマグネシウム溶湯防燃用カバーガスの実用化研究を重ねた結果、株式会社東海理化 音羽工場殿におけるマグネシウムダイキャスト製造工程に「エムジーシールド®」（主成分：フッ化ケトン）、希釈用炭酸ガス、供給装置および配管一式を国内で初めて納入いたします。

なお、本件は、経済産業省が公募する「地球温暖化防止支援事業」の対象となり、審査の結果「平成17年度地域地球温暖化防止支援事業費補助金」が給付されることになりました。

従来、マグネシウムダイキャストには溶融マグネシウムの防燃用カバーガスとしてGWP（地球温暖化係数）が二酸化炭素の22,200倍の「SF₆（六フッ化硫黄）」が使用されておりました。このSF₆に替わる新しい代替ガスとして開発されたカバーガスは、GWPが二酸化炭素とほぼ同等（≒1）でSF₆と比較して地球環境負荷低減に大きな効果を発揮します。

- 「エムジーシールド®」の主な特長
 - GWP(地球温暖化係数)≒1。
 - ボンベタイプで既存カバーガスと同様の取扱いが可能。
 - 住友スリーエムのNovacTM612を防燃剤とし、SF₆と同等の防燃効果が得られる。
- 効果、優位性
SF₆の使用量削減により、45,000 t/年CO₂の温暖化ガスの削減が可能。
- 量産使用に関する今後の予定
2005年10月～：実用化開始（モデルライン1台）
2006年2月～：順次切替え、全ラインに展開
- エムジーシールドに関する拡販予定
5年後には、エムジーシールド1,000本/年の拡販を目指す。

以上

本件に関するお問い合わせ

大陽日酸株式会社
品川区小山1-3-26 東洋 Bldg.
ガス事業本部 営業開発部
関原（03-5788-8319）
経営企画・総務本部広報部
高橋・追川（03-5788-8015）

大陽日酸株式会社
東京都品川区小山1-3-26 東洋Bldg.
〒142-8558
Telephone : 03-5788-8015
Facsimile : 03-5788-8700
<http://www.tn-sanso.co.jp>

<添付資料>

株式会社東海理化概要

- ①社名 株式会社東海理化
- ②商号 株式会社東海理化電機製作所
- ③設立 昭和23年8月
- ④取締役社長 木下 潔
- ⑤本社所在地 愛知県丹羽郡大口町
- ⑥資本金 187億7,675万円
- ⑦社員数 5,550名
- ⑧事業内容 自動車用部品のステアリングホイール、スイッチ、キーロック、シートベルト他及び一般電機部品



エムジーシールド供給システム



エムジーシールド